

2026 年(令和8年) 7月 1 日

さか
した

タイムズ

ときめき・かがやき・つながる さかした



第249号

中津川 Night ビアガーデン

「坂下 de ないと！」を開催します！

昨年、中津川駅前で好評だったイベントが坂下へやってきます！
おいしいものを食べて、家族みんなで盛り上がりましょう！

【場 所】 道の駅きりら坂下 駐車場

【日にち】 7月18日(土)

【時 間】 14:00~20:00

主催：中津川 Night ビアガーデン実行委員会

共催：やさか月の市実行委員会、道の駅きりら坂下、やさか観光協会

後援：中津川市

★ イベント内容 ★

飲食店 ●14 店舗

子ども向け
アトラクション ●逆バンジー
●巨大迷路
(※一部有料)

会場内 ●大道芸
●弾き語り

お問合せ：道の駅きりら坂下
☎ 70-0050

還暦の会のみなさんからのご寄付

今年度も還暦実行委員会(昭和41・42年生まれ午未会
実行委員長 山下真也)から下記の施設・団体にご寄付
をいただきました。ありがとうございました。

【敬称略】

寄付先	金額(円)
やさかこども園	121,136
坂下小学校	121,136
坂下中学校	121,135
坂下歌舞伎保存会	30,000
合計	393,407

ほほえみ教室

さつまいもを植えました

民生委員・主任児童委員による
広報活動が行われました

5月16日(土)、「民生委員・児童委員の日」活動
強化週間にちなみ、ショッピングセンターサラ・道
の駅きりら坂下駐車場で、民生委員・主任児童委員
による広報活動が行われました。

民生委員・児童委員の活動や存在を身近に感じて
いただく活動の一環として、ポケットティッシュを
配布しました。



6月9日(火)、ほほえみ教室の学級生がさつまいもの苗植えを
しました。

今年は松源地の平松農園の一部をお借りすることになりました。

もともと予定していた4日(木)は天候が悪く、改めてこの日参加
できる学級生5組が集まり、平松さんの指導のもと、30本あまりの
苗を植えました。

秋の収穫が楽しみです。

第3回坂下・川上・山口小学校統合準備委員会が開催されました

坂下小学校・川上小学校・山口小学校の学校再編に向けて様々な協議を進めるための『坂下・川上・山口小学校統合準備委員会』の第3回目の会議が、5月14日（木）に開催されました。

統合準備委員会では、部会（総務部会・PTA部会・学校運営部会）を設け、各部会において詳細な事項を協議し、部会で決定された協議事項を統合準備委員会（全体会）にて審議され最終決定されます。

今回、審議・決定された事項は以下のとおりです。

■統合後の学校名について（総務部会）

統合後の学校施設は、現坂下小学校の施設として、『やさか小学校』とすることが総務部会で決定され、全体会にて承認されました。

■川上地区・山口地区児童の通学方法について（PTA部会）

次のとおりPTA部会で決定され全体会にて承認されました。

川上地区：路線バスおよび、スクールバス（ワゴン車）の併用

山口地区：スクールバス（中型バス）

やさか地区親睦ゴルフ大会から協力金を寄付していただきました

親睦と融和を目的とした「やさか地区ゴルフ大会」が、5月20日（水）に、蛭川の明智ゴルフ倶楽部ひらかわゴルフ場において開催されました。

当日は新緑のゴルフ日和に恵まれ、123名の参加者により盛大に催されました。

この大会では、例年「青少年並びにスポーツ振興」に役立てていただくようにと参加者の皆さんに協力金をお願いしており、今年度も132,500円の善意が寄せられました。この協力金は、やさかゴルフ大会実行委員会からNPO法人やさかイキイキ倶楽部に寄付されました。ありがとうございました。



やさか消防操法大会開催

6月7日（日）、坂下中学校グラウンドで「第11回やさか消防操法大会」が開催され、可搬ポンプの操作技術を競いました。

坂下分団からは1部（1区～5区）と4部（10区）によるAチーム、2部（6区、7区）と3部（8区、9区）によるBチームの2つの合同チームが出場し、山口、川上分団の各1チームを加えた計4チームが訓練の成果を披露しました。

坂下分団では以前のように競技としてではなく、団員の負担軽減にも配慮しつつ、有事の際にすべての消防団員が怪我なく、機械器具をスムーズに操作できるようにすることを目的に訓練を重ねてきました。

大会の結果、6月28日（日）、馬籠ふれあい広場で開催される「第61回中津川市消防団及び第52回中津川市消防協会消防操法大会」には坂下分団からは準優勝した2部と3部による合同チームが坂下分団として全団員一致団結して出場します。

応援をよろしくお願いします。



優勝	川上分団
準優勝	坂下Bチーム
3位	山口分団
4位	坂下Aチーム

区長会通信

地域の安全を守る「要望活動」について

私たち区長会では自治会長と一体となって地域の安全を守る大切な業務に日々取り組んでいます。

その一つが、住民の皆様から寄せられる道路の破損、土砂崩れや倒木など自然災害や危険箇所などの情報集約です。

これらを現地で確認し、写真や地図を添えた「要望書」としてまとめ、市役所へ迅速に提出・改善交渉を行っています。

この地域を守るためには、行政の力だけでなく、皆様の「地域の目」が欠かせません。日々の生活の中で道路や河川など公共用地で「ここは危険だな」、「補修が必要だな」と気づいた点がございましたら、自治会長を通じてどうぞお気軽に地域の区長までお知らせください。

誰もが安心して暮らせる安全なまちづくりを共に進めてまいりましょう。

なお、令和7年度は坂下地区全体から寄せられた56件の要望に対応いたしました。

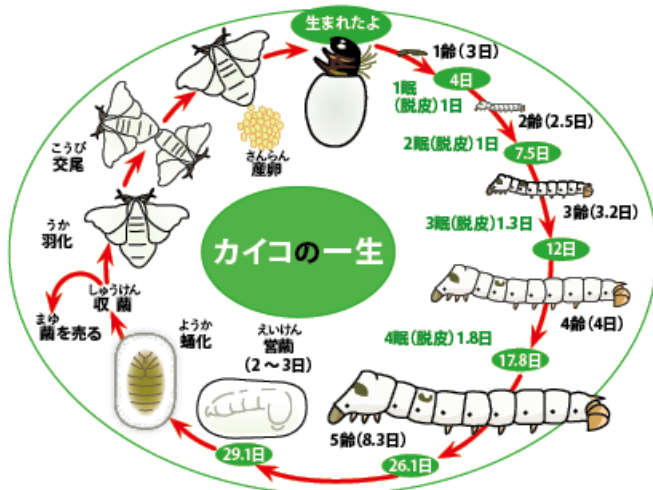
郷土文化財紹介

郷土文化財保存会会員

たぐちのりいち
田口憲一

＜坂下の養蚕・蚕種・製糸業 その12＞～蚕種製造業1～

蚕種とは蚕の卵のことです。その形が植物の種とよく似ているのでこう呼ばれてきました。繭を食い破って這い出した蛾は交尾して産卵します。自然のままだと卵の状態で越冬し、次の春に孵化して蚕になります。



↑ 蚕の一生

『農研機構「旬」の話題 カイコの秘密』より

養蚕が盛んになると稲作の副業として蚕を飼うために、孵化する時期を調節(抑制)して都合の良い時期に飼えるように工夫されました。長野県梓川上流の稲核では地下から冷風が吹き出す所を囲って、漬物などを貯蔵する施設(天然の冷蔵庫)「風穴」がありました。日本で最初に風穴を蚕種貯蔵に利用したのは稲核村の前田喜三郎で、1865年(慶応元年)5月のことでした。「稲核風穴」と呼ばれています。

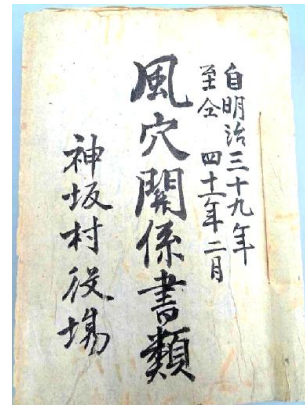


↑ 現存する稲核風穴

「風穴を利用することで1年に2回以上養蚕が出来る」

この情報が各地に拡がり、坂下からも稲核風穴へ蚕種を預けることがはじまります。しかし、遠隔地へ運ぶことは大変なことです。その頃、神坂村(当時は長野県西筑摩郡)霧ヶ原の人が、神坂峠に続く御料林の中で冷風の吹き出しを発見し、明治16(1883)年頃から風穴の利用をはじめます。

明治20年代になると落合の蚕種業者がこれに着目し、稲核から神坂へ移行し始めます。そのために通行が増え、道路を直しても村外の業者が神坂の風穴で利益を上げるようになると、地元としては面白くありません。はじめ村は閉鎖主義をとりますが内外の情勢・当局からの指導もあり、解放に向かいます。



明治30年代頃から神坂風穴の数が急激に増加し、最盛期には約30箇所に達しました。当時の神坂村役場で風穴に関する届や許可などの事務を扱った書類の綴が残っています。(左写真:市史編纂室蔵)

この中には坂下の蚕種業者の名前があります。

ここで蚕種の説明をします。

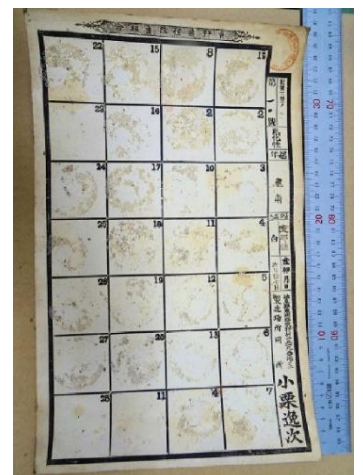
まず紙(335×225mm)の上に枠を置き、枠の中に交尾の終わった雌蛾を1匹ずつ入れて産卵させます。卵を産み付けられた紙を種紙(蚕種紙)と言います。

(下写真:市史編纂室蔵)

蚕種業者(種屋)はこうした作業を短時間でしなければなりません。当然沢山の人手が必要となります。(くわしくは〈その14〉

で説明します)

蚕種製造業者は蚕の品種改良を重ね、飼育が容易で高品質な繭を作る蚕種の開発を競って進めます。風穴蚕種が普及拡大する中で当局の指導と管理が進み、日本の蚕種は先進国のフランス、イタリアをも越える優れた品質となります。



毎月第3日曜日は「家庭の日」中津川市青少年健全育成推進市民会議
でかけるときは いきさきをかぞくにつたえます

坂下高校 賢・剛・優

福祉科「介護実習」

坂下高校福祉科には介護実習という授業があります。生徒が実際に障がい者支援施設や介護老人福祉施設などの社会福祉施設へ赴き、生活支援技術や介護技術など、実習を通して学ぶ授業です。



今年度も5月11日(月)から始まり、一年間で延べ、1年生は15日間、2年生は20日間、3年生は25日間の実習に取り組みます。現場での貴重な経験を通して、利用者様への関わり方や介護の大切さをしっかりと学び、介護福祉士の資格取得や自分の将来に向けて頑張っています。施設の方、利用者の皆様、今年度もよろしくお願いします。

坂下中学校 超升先輩

やさかふるさと研修

5月22日(金)と28日(木)の2日間、1年生が『やさかふるさと研修』を行いました。1日目は、夕森公園でカレーライスづくりを仲間と協力してやり抜くことができました。苦労して作り上げたカレーのおいしさは格別でした。

2日目は、東山魁夷心の旅路館、高峰楽器製作所で研修しました。いずれも、普段は見たり聞いたりできないことを特別に経験させていただきました。この研修を通して、自分たちのふるさと『やさか』への愛着をさらに深めることができました。



坂下小学校 ひとりだち

田植え体験

5月27日(水)に、5年生の総合的な学習の時間に『田植え』の体験を行いました。5年生は1年間、体験を通して地域の方から米作りを学びます。前の週の代掻きの見学に続き、今回は田植えの体験でした。地域の方から苗の植え方を教わり、田んぼに入って手で苗を植えました。初めて田んぼに入る子も多く、足を取られてうまく進めない子や、転んで泥だらけになってしまう子もいて、悪戦苦闘しながら1本1本苗を植えていきました。子ども達は「お米を育てるのはこんなに大変なことだと初めてわかった」と、米作りの大変さと、ありがたさを感じていました。今回植えた苗が、これからどのように育ち、おいしいお米になるのかが楽しみです。



やさかこども園 かがやく瞳

こども園交流会

6月2日(火)、山口こども園のお友達(5歳児6名)がやさかこども園に遊びに来てくれました。小学校統合が決まり、今年度は定期的に交流していこうと計画しています。この日は2度目の交流でした。最初は少し緊張していた子ども達でしたが、一緒に伝承遊びや繋がり遊びをするうちに心もほぐれ、笑顔で一緒に遊ぶ姿が見られるようになりました。その後、遊戯室で給食を食べました。山口の子とやさかの子がペアになり隣同士で食べました。少しずつお互いの名前を呼び合い、給食後はおもちゃの貸し借りをする姿をして遊ぶ姿も見られました。交流することで、新しいお友達も増え、楽しい時間を過ごす事ができました。今後も交流を継続して仲良くできるといいですね。



《7月の主な行事》

日	曜日	行事名	時間	場所
7	火	いきいき元気教室	13:30~14:30	坂下公民館
15	水	行政・人権相談	13:00~15:00	坂下総合事務所第2庁舎
18	土	中津川 Night ビアガーデン 坂下 de ないと!	14:00~20:00	道の駅きりら坂下 駐車場
24	金	おはなしの会	10:00~11:00	坂下公民館
		定例区長会	13:30~	坂下総合事務所第2庁舎
28	火	やさか地区農業委員会	9:00~	坂下総合事務所
		農地相談	9:30~	

ごみの収集日

燃えるごみ	毎週月・木曜日
燃えないごみ	7月 1日(水)
資源・硬質ごみ	7月 8日(水)
大型ごみ	7月 17日(金)
有害ごみ	7月 22日(水)

人口と世帯数(令和8年6月1日現在)

人口	3,803人(前月比3人減)
	男1,840人、女1,963人
世帯数	1,598世帯(前月比2世帯増)

慶弔のお知らせ

5月11日から6月10日の
坂下総合事務所への届出分

敬称略

○ご誕生

性別 (隠略)

加藤 太陽 男 (弘和) 矢淵

●ご逝去

田代 宏 (94歳) 矢淵

瀬織 次子 (92歳) 松源地

越野 幹男 (85歳) 大門

編集・発行

中津川市 坂下総合事務所

電話 0573-75-2111

FAX 0573-75-4704

Mail sakashita-office@city.nakatsugawa.lg.jp